令和８年 新年のごあいさつ

湖南市長　**松浦　加代子**

あけましておめでとうございます。

皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、四月には湖南市立甲西中学校夜間学級が開設、また秋には、わたSHIGA輝く国スポ・障スポ２０２５が湖南市においても開催され、明るいニュースにまちが沸きました。

特に、国民スポーツ大会・剣道、全国障害者スポーツ大会・バレーボール（知的障がいの部）では、官民が一体となり、全国からたくさんのお客様をお出迎えできました。選手や選手を応援されてきた方々からは「湖南市でのおもてなしがとてもありがたかったです」というお声が届いています。お迎えした私たちも競技の迫力・選手を支える方々の献身を実感させていただくことができました。そして何より、スポーツをする・観る・支える・感じる機会を得たことが、今後の私たちの暮らしを豊かにすることにつながる。そのことに感謝したいと思っています。

また昨年は、参議院議員選挙・湖南市議会議員一般選挙・国勢調査等、皆さまのご理解とご協力を得て、無事に実施することができました。

十一月からスタートした新議会。議会と市長は、二元代表制のもと、一人ひとりが湖南市政を前へ進めるための方針や施策を持ち合わせております。立場は違いますが、めざすところは「湖南市民の幸せを願い、その実現を図ること」であると考えております。新議会におきましても、これまでと同様に、民主的で建設的な議論が展開されることと存じます。

さて、一昨年十一月より市長を拝命し、「市民笑顔率世界一！」をキャッチフレーズとして、笑顔の絶えないまちづくりにむけて取り組みを進めております。令和八年度は、編成の初めから市長として関わった予算案、つまり〝マツウラカラー〟の表れるものを三月市議会定例会で、提案させていただく準備をしています。

結びに、本年が皆さまにとりまして、明るく希望に満ちた良い年になりますこと、ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

湖南市議会議長　**細川　ゆかり**

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

皆さまには、日頃より市政ならびに議会活動に対して温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年の市議会議員改選を経て、新たな体制のもとで議会がスタートいたしました。市民の負託を受けた議員一人ひとりが、初心を忘れることなく、誠実に議会活動へ取り組んでまいります。

議会は、市民の皆さまの声を市政に反映させる重要な役割を担っています。人口減少や少子高齢化、地域経済の活性化、地域公共交通、防災・減災対策など、課題は多岐にわたります。こうした課題に対し、議会と市が緊張感を持ちながらも建設的に議論を重ね、より良い政策を導き出すことが求められています。新体制の議会は、多様な視点を尊重し、開かれた議論を通じて合意形成を図り、市民の安心と希望につながるまちづくりを進めてまいります。

市議会では、次代を担う子どもたちに「自ら考え、判断し、行動する力」を育む主権者教育を重要な使命と位置づけています。昨年の「中学校生徒会サミット」では、地域課題について若い世代が真剣に意見を交わす姿に、大きな可能性を感じました。また、市内すべての小学校に議場見学を実施し、議会の役割や仕組みを直接体験していただきました。子どもたちが議場で目を輝かせながら質問する姿は、大変心強く、未来への希望を実感する機会となりました。

夏まつりでは初めて「議会だより」のアンケート調査を行い、多くの市民の声を直接伺うことができました。これらの活動は、市民参加を広げ、議会をより開かれた存在にするための大切な一歩です。

今後も情報公開やＩＣＴの活用を進め、議会活動を分かりやすく伝えることで、市民の皆さまから身近に感じていただける議会をめざします。新しい年が、市民の皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。